

(平成21年4月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>4月期の野菜の入荷状況は、土物類を除き、生育期の低温等により作柄が悪く、全国的な品薄状態となった。しかし、当市場においては中央集散機能が発揮され、根菜類、果菜類については前年並みとなった。土物類は安定した入荷となり、野菜全体の入荷量としては前年並みとなった。</p> <p>価格は、葉菜類、果菜類では全国的な品薄状態から単価高となり、野菜全体としては前年同期を4%上回った。</p> <p>品目別には、長大根、筍、はくさい、キャベツ、レタス、トマト、ピーマンが入荷減の単価高、西洋にんじん、ほうれんそう、きゅうりは入荷増の単価安となり、なす、ばれいしょ、玉葱は入荷増の単価高となった。</p> <p>根菜類は、入荷が前年並みで、価格も前年並みとなった。 葉菜類は、入荷が6%減少し、価格は18%高となった。 果菜類は、入荷が前年並みで、価格は6%高となった。 土物類は、入荷が11%増加し、価格は前年並みとなった。</p>
果 実	<p>4月期の果実の入荷状況は、りんご類を除き、天候不順や作付面積の減少などから入荷減となり、果実全体の入荷量としては前年同期を8%下回った。</p> <p>価格は、いちご類、りんご類については下位等級の割合が多く単価安となり、一方、柑橘類、メロン類、スイカ類は入荷減による単価高となり、果実全体としては前年同期を8%下回った。</p> <p>品目別には、清見オレンジ、アールスメロン、アンデスメロンが入荷減の単価高、ふじりんご、いちごは入荷減の単価安となり、甘夏柑が入荷増の単価前年並み、大玉スイカが入荷減の単価前年並みとなった。</p> <p>柑橘類は、入荷が10%減少し、価格は6%高となった。 りんご類は、入荷が前年並みで、価格は11%安となった。 いちご類は、入荷が11%減少し、価格は8%安となった。 メロン類は、入荷が41%減少し、価格は18%高となった。 スイカ類は、入荷が20%減少し、価格は4%高となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	<p>長崎県を中心に、千葉県、鹿児島県、滋賀県、香川県からの入荷。各産地とも、12月の降雨による播種遅れから全国的な品薄状態となり、中央集散機能が発揮されたものの、入荷量は前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は、全国的な品薄状態から単価高で推移し、前年同期を25%上回った。</p>
西洋人参	<p>徳島県を中心に、長崎県、鹿児島県からの入荷。主力の徳島県が11月の降雨による播種遅れから中下旬が入荷減となったものの、全体の入荷量としては前年同期を3%上回った。</p> <p>価格は、前年が極端な単価高で推移したことから前年同期を35%下回った。</p>
たけのこ	<p>京都府、徳島県を中心とする入荷。2、3月の地温が高かったことから前進出荷となり、当月の入荷量は前年同期を11%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を15%上回った。</p>
【葉菜類】	
はくさい	<p>茨城県を中心に、長崎県、熊本県、福岡県、鹿児島県からの入荷。生育期の低温干ばつから小玉傾向での入荷となり、入荷量は前年同期を5%下回った。</p> <p>価格は、入荷減に加えて、一般消費、加工需要ともに多く前年同期を29%上回った。</p>
キャベツ	<p>愛知県を中心に、神奈川県、兵庫県、鹿児島県、滋賀県からの入荷。生育期の低温干ばつから全国的な品薄状態となり、中央集散機能が発揮されたものの、入荷量は前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は、全国的な品薄状態から単価高で推移し、前年同期を50%上回った。</p>
ほうれんそう	<p>京都府を中心に、徳島県、岐阜県、滋賀県、茨城県からの入荷。主力の京都府産が、3月下旬の寒波によって生育の滞っていたものが当月に集中し、全体の入荷量は前年同期を11%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により前年同期を6%下回った。</p>
レタス	<p>兵庫県、茨城県を中心に、徳島県、長崎県、岡山県からの入荷。生育期の低温干ばつから全国的な品薄状態となり、中央集散機能が発揮されたものの、入荷量は前年同期を6%下回った。</p> <p>価格は、全国的な品薄状態から単価高で推移し、前年同期を33%上回った。</p>

<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>宮崎県，高知県を中心に，滋賀県，福岡県，愛媛県からの入荷。 各産地とも気温の上昇に伴って入荷は増加し，入荷量は前年同期を10%上回った。 価格は，入荷増により前年同月を6%下回った。</p>
<p>なす</p>	<p>高知県を中心に，岡山県，徳島県，滋賀県からの入荷。 各産地とも生育期の曇天や低温によって作柄が悪く，全国的な品薄状態となったものの，中央集散機能の発揮により入荷量は前年同期を6%上回った。 価格は，全国的な品薄状態から前年同月を11%上回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>熊本県を中心に，福岡県，三重県，佐賀県，奈良県からの入荷。 各産地とも生育期の曇天や低温によって作柄が悪く，入荷量は前年同期を4%下回った。 価格は，入荷減により前年同月を10%上回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎県を中心に，高知県，茨城県，鹿児島県からの入荷。 主力の宮崎県では開花期の低温等による着果不良から作柄が悪く，入荷量は前年同期を22%下回った。 価格は，大幅な入荷減により，前年同期を36%上回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)</p>	<p>鹿児島県，北海道を中心に，長崎県からの入荷。 各産地とも前年のような降雨による収穫作業の遅れはなく，入荷量は前年同期を11%上回った。 価格は，高品質で，主力等級を中心とする入荷であったことから前年同期を5%上回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>長崎県，北海道を中心に，佐賀県，兵庫県，愛知県からの入荷。 低温等により生育の遅れていた長崎県の新物が当月に集中入荷し，入荷量は前年同期を11%上回った。 価格は，高品質で主力等級を中心とする入荷であったことから前年同期を8%上回った。</p>
<p>【その他野菜】 生しいたけ</p>	<p>徳島県を中心に，広島県，岡山県，和歌山県からの入荷。 広島県，岡山県での増産以降安定した入荷状況であり，入荷量は前年同期を4%上回った。 価格は，不況により上位等級の需要が低迷したものの，下位等級の需要が伸び，全体としては前年並みとなった。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏柑	<p>愛媛県，熊本県を中心に，福岡県，和歌山県，鹿児島県からの入荷。各産地とも小玉傾向ではあるものの，作柄は良く，入荷量は前年同期を8%上回った。</p> <p>価格は，小玉傾向ながら，品質良好で，前年並みとなった。</p>
清見	<p>和歌山県を中心に，佐賀県，広島県，愛媛県からの入荷。主力の和歌山県では，気温の上昇によって腐敗果の発生が多く，入荷量は前年同期を24%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により前年同期を20%上回った。</p>
ふじ （サン含む）	<p>青森県を中心とする入荷。産地貯蔵のサンふじに品質低下が見られたことから有袋ふじへの切替えを早期開始したものの，出荷量の調整があり，入荷量は前年同期を6%下回った。</p> <p>価格は，入荷減ながら，需要の低迷により前年同期を11%下回った。</p>
いちご	<p>福岡県，熊本県を中心に，長崎県，大分県，佐賀県からの入荷。各産地とも天候不順により着果が悪く，入荷量は前年同期を11%下回った。</p> <p>価格は，入荷減ながら，需要の低迷によって前年同期を8%下回った。</p>
アールスメロン	<p>高知県，静岡県を中心に，宮崎県，熊本県からの入荷。各産地とも昨年の加温用重油高騰によって生産意欲が低下し，作付面積を減少したことから，入荷量は前年同期を22%下回った。</p> <p>価格は，大幅な入荷減によって前年同期を12%上回った。</p>
アンデス	<p>熊本県を中心に，茨城県からの入荷。各産地とも開花期の天候不良により着果不良となり，入荷量は前年同期を38%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により，小玉傾向での入荷ながら前年同期を8%上回った。</p>
大玉スイカ	<p>熊本県を中心に，高知県からの入荷。各産地とも昨年の加温用重油高騰によって生産意欲が低下し，作付面積を減少したことから，入荷量は前年同期を21%下回った。</p> <p>価格は，大幅な入荷減ながら，下位等級の割合が多く前年並みとなった。</p>